

本がいっぱい!



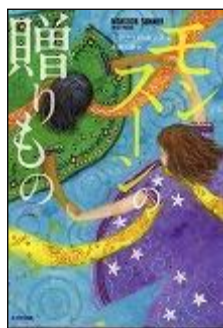
Teen's 2017



『フラダン』《Y F F》

古内一絵／作 小峰書店

「ねえ、フラ愛好会に入らない？」突然、見知らぬ女子に話を持ちかけられ、^{ゆたか}穰は面食らった。冗談だろ？フラダンスなんて。しかし、しぶしぶ練習に参加するうちに、穰は地響きをたてるような力強いダンスに夢中になっていった。もしかしたら、フラって、かっこいいかも…?



『モンスーンの贈りもの』《Fパ》

ミタリ・パーキンス／作 永瀬比奈／訳 鈴木出版

15歳のアメリカ人の少女ジャズは、インドの孤児院でひと夏を過ごすことになった。そんなジャズ一家のところへ、同い年の女の子がお手伝いさんとして働きに来た。ジャズは貧しい女の子たちを手助けしたいと思うが、過去に、信じていた人に裏切られたせいで前向きになれず…。

TOKOROZAWA PUBLIC LIBRARY
所沢市立所沢図書館



『世界を7で数えたら』《Y F S》

ホリー・ゴールドバーグ・スローン／作 三辺律子／訳 小学館

世界をなんでも数字で把握したがる変わり者の女の子、ウィロー。植物が好きで、人の病気の状態を観察するのが好きで、「高機能」な脳の持ち主なのに、集団生活にはなじめない。そんな彼女の世界が、ある日突然変わってしまった。愛する両親がこの世からいなくなってしまったのだ。

『スピニー通りの秘密の絵』《Y F F》

L. M. フィッツジェラルド／著 千葉茂樹／訳 あすなろ書房

「卵の下を探すんだ」セオの祖父は、最期に謎の言葉を残した。謎を解く鍵は、一枚の絵。セオは、塗り重ねられていた秘密の絵の鑑定に挑む。絵の秘密とともに、明らかになる祖父の隠された過去とは…。



『骨董通りの幽霊省』《Fシ》

アレックス・シアラー／著 金原瑞人・西本かおる／訳 竹書房

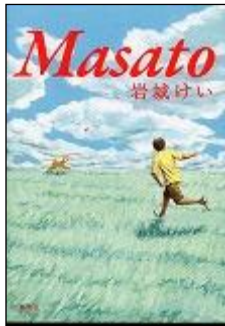
人知れず存在する幽霊省に貼りだされたアルバイト募集の紙。それに目を留めたトラパンストとティムが話を聞くと、幽霊を捕まえる仕事らしい。長年幽霊の存在を証明できず、存続の危機に陥った幽霊省を救うため、二人は幽霊探しへの一步を踏み出した。

『王宮のトラと闘技場のトラ』《Fリ》

リン・リード・バンクス／作 杉田七重／訳 さ・え・ら書房

森で捕えられた2頭の兄弟トラ。体の大きい方は闘技用に飼育され、もう1頭は皇帝の娘アウレリアのペットとなる。アウレリアは、飼育係のユリウスと心を通わせながらトラを可愛がってきたが、あるとき、不注意でトラを逃がしてしまった。そしてユリウスに重い処罰が下されることになり…。





『Masato』《Y F I》

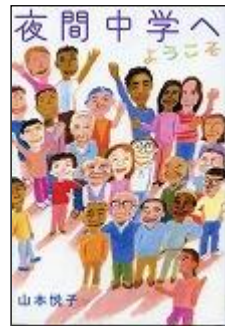
岩城けい／著 集英社

父の仕事のため一家でオーストラリアに引っ越してきた6年生の真人は、地元の小学校の5年生に転入した。英語が分からないし、アジア人だから、いじわるするヤツもいるけど、サッカークラブに入ってから友だちもたくさんできた。でも、母はどうしても異国での生活になじめなくて…。

『夜間中学へようこそ』《Fヤ》

山本悦子／作 岩崎書店

ある日突然、おばあちゃんが夜間中学に通うと言いだした。おばあちゃんも私と同じ中学1年生？お父さんは反対したけれど、学校へ通うおばあちゃんは楽しそう。ところが、おばあちゃんがケガをして、私が付き添うことに。そこでは思わぬ出会いが待っていた。



『レイさんといた夏』《Fヤ》

安田夏菜／著 佐藤真紀子／装画・挿絵 講談社

「私って、なんなんだろ」。そんなことを考えていた中学生の莉緒のところ、突然現れた幽霊、レイさん。レイさんは記憶を失くしていて、自分が誰なのか分からない。莉緒はレイさんに頼まれて、しぶしぶ失った記憶を取り戻す手伝いをするようになる。レイさんは、一体何者なのか…。

『星野道夫—アラスカのいのちを撮りつけて—』

国松俊英／著 PHP研究所《28.9》

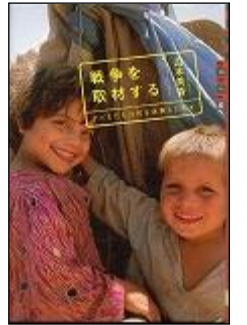
大学生の時に出会った1冊の本『Alaska』。道夫は、その中の1枚の写真に魅せられ、「この村へ行ってみよう」と思い立つ。そして、名前も住所もわからぬその村の村長あてに手紙を書く…。持ち前の行動力で夢をかなえ、アラスカの大自然を撮り続けた写真家の物語。



『戦争を取材する』《31》

山本美香／著 講談社

世界中の人たちが戦争を知ることで、世界を良い方向に変えることができるはず。強い信念のもと、ジャーナリストとしてカメラを手に戦場を取材し、シリアで銃撃を受けて帰らぬ人となった著者。『これから戦場に向かいます』（ポプラ社）も一緒に読んで、平和について考えてみませんか？



『深く、深く掘りすすめ！<ちきゅう>』《55》

山本省三／著 友永たろ／絵 くもん出版

月や深海よりも近くて遠い、地球内部の世界。だれも確かめたことのないその世界に迫るべく、世界中の海底で、深く深く穴を掘りすすめる、日本の地球深部探査船<ちきゅう>。深海探査の歴史と、世界の先端に行く日本の技術・研究の記録。

『空から宝ものが降ってきた！』《50》

伊藤親臣／著 旬報社

雪を何かに利用する「利雪^{りせつ}」という取り組みを知っていますか。雪が身近な日本では昔から雪を巧みに利用した生活を送っています。そして、現在は、世界中が雪に秘められた可能性に注目しています。それは一体なぜでしょう。スキーやスノーボードなどで楽しむだけではない、雪の力をお見せします。



『100年後の水を守る』

橋本淳司／著 文研出版《51》

猛毒に汚染された水を飲む子どもたちがいる。水不足で作物が枯れ果てた町がある。100年後の水と命を守るために、できることは何か？「水の授業」を通して考えよう。

『手をつなごうよ』

松居友／著 彩流社《01》

フィリピンのミンダナオ島に、子ども図書館をつくった松居さん。子ども図書館をつくるまでのこと、ミンダナオの子どもたちの生活のこと、そして日本の子どもたちに向けたメッセージが語られています。